



唐津赤十字病院

日本赤十字社

唐津赤十字病院 初期臨床研修自由選択プログラム



- 理 念 ● 安心な医療 あたたかい看護 地域への貢献
- 基本方針 ● 患者さんの人権を尊重します
- 質の高い医療と看護を提供します
- 救急医療やがん医療の充実に努めます
- 地域医療連携を推進します
- 災害救護の貢献します
- 健全で安定した経営基盤を確立します

唐津赤十字病院が担う医療

唐津赤十字病院は、佐賀県北部の中核病院であり、今後の地域医療の最後の砦の役割を果たすために医療の質の向上、医療安全に努めています。



最後の砦



病院の概要

病床数 304床 (感染症 4床)

承認指定等

地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
地域救命救急センター
地域災害拠点病院
原子力災害拠点病院
DMAT 指定医療機関
臨床研修病院 (基幹型・協力型)
DPC 対象病院
HIV 感染症に関する地域中核医療機関



ホスピタルギャラリー



3階南病棟 [救命救急]

診療科

内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科
循環器内科・血液内科・糖尿病内科
腎臓内科・腫瘍内科・感染症内科・小児科
外科・消化器外科・肝胆膵外科・乳腺外科
呼吸器外科・整形外科・脳神経外科
産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科
泌尿器科・リハビリテーション科
放射線科・麻酔科・精神科・救急科
病理診断科・形成外科・歯科口腔外科

職員数

616名 (令和5年4月)

医師	86名
看護師等	333名
コメディカル	85名
その他	112名

研修医の声

当院は診療科に関わらず医師間の垣根が低く、研修医の疑問にも親身に向き合ってください先生ばかりです。また、看護師や薬剤師をはじめとする他職種のスタッフ、さらには地域の救急隊とまでも顔の見える関係であり、患者さんを中心としたチーム医療を行うために各分野の専門家が活発に情報共有や議論を行える環境です。熱意のあるスタッフと、地域に根差した総合病院ならではの急性期から慢性期にわたる豊富な症例の下で、「真に患者さんのためになる医療とは何か」を学ぶことができます。

また、災害時の救護派遣など赤十字病院独自の活動や、離島診療を中心とした唐津地域の特色を生かした研修、患者さんへ向けた季節のイベントへの参加など、日常診療以外にも様々な経験を通して、医師としてのみならず人としても成長できる場所です。

あたたかい人や環境に囲まれて、この魅力あふれる病院で研修をしてみませんか？



九州八県支部合同災害救護訓練風景

認定施設

- ・日本内科学会認定医療制度教育病院
- ・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・放射線科専門医修練協力機関
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設認定
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・救急科専門医指定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指導施設
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・マンモグラフィー検診施設画像認定証
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本消化器学胃腸科指導施設
- ・呼吸器外科専門医制度認定修練施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設
- ・日本救急医学会指定施設
- ・日本呼吸器外科関連施設
- ・日本呼吸器学会関連施設
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育関連施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・小児循環器専門医修練施設
- ・日本糖尿病学会教育関連施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設

唐津赤十字病院初期臨床研修自由選択プログラム

プログラムの概要

研修プログラムの特徴

本院は佐賀県北部における唯一の総合診療機能を有する病院であることから、この地域における2.5次ないし3次の救急患者の大半が本院に搬送されている。

さらに急性期医療を中心に、地域救命救急センター、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、原子力災害拠点病院としての診療機能を果たしており、1次医療は勿論2次救急の初期医療に必要な技能と知識は確実に修得できる。

また、がん診療拠点病院としての癌の専門的診療、従事者研修等を実施、がん診療に対する様々なアプローチ法を学ぶことができ、まさに初期研修を受けるには最適な病院である。

急性期医療を展開している当院において、1年次に内科24週、救急12週の研修を行い、2年次には唐津市内や離島診療所での地域医療研修を実施し、2年次においては、研修可能施設も複数選択可能である。すなわち、唐津赤十字病院臨床研修プログラムでは、当院以外に佐賀県内のその他の基幹型研修病院を組み合わせでの研修が可能である。

プログラムの内容

(1) **必修科目** 2020年4月からの医師臨床研修制度の見直しに伴い、必修科目は、内科、救急、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科の7科になる。また、一般外来研修も必須となった。なお、本プログラムにおいては、ローテーション期間の目安が週単位で示されているが、他の職種や他施設の人事異動等との兼ね合いから、4週を1か月、8週を2か月、12週を3か月として運用するとする。

1年次に内科24週、救急部門12週の研修をそれぞれ行う。救急部門研修期間の12週の内、4週は麻酔科での研修も選択可である。また、1年次に救急科を8週、2年次に麻酔科を4週などの選択も可能とする。

外科、小児科、産婦人科、精神科の各診療科において4週以上の研修を行う。

さらに、2年次に、地域医療研修を4週以上行うこととする。

一般外来研修は、内科および小児科研修期間には週0.5～1日以上と、地域医療研修において週3日以上実施することとする。

(2) 選択科目 (2年次)

内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科、麻酔科、救急科、産婦人科、精神科、病理診断科のうち将来希望する診療科に属し研修を行う(診療科の数は問わない)。なお、この期間の研修施設は、唐津赤十字病院のほか佐賀大学附属病院や佐賀県内のその他の基幹型研修病院を組み合わせでの研修が可能である。また、精神科を選択する場合は、松籟病院・虹と海のホスピタル、産婦人科を選択する場合は、久保田レディースクリニック産婦人科・麻酔科で研修を行うことも可能である。

[研修期間割] (例示)

1年次	内科 (24週)		救急 (12週)	外科 (4週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)
2年次	地域医療 (4週)	精神科 (4週)	選択科目 (40週)			



日本赤十字社

令和6年度

唐津赤十字病院初期臨床プログラム 研修医募集要項

- ◆募集人員 唐津赤十字病院初期臨床研修自由選択プログラム：4名
- ◆応募資格 令和6年4月医師免許取得見込み者又は医師免許取得者
- ◆提出書類
 - (1) 自筆の履歴書（指定A3サイズ版、写真貼付）
 - (2) 卒業証明書又は卒業見込み証明書
 - (3) 成績証明書（医師免許取得者は不要）
- ◆募集開始日 令和5年7月
- ◆選考日 随時
応募を希望される場合はご連絡下さい。日程を調整します。
- ◆選考方法 面接・書類により選考
- ◆採用予定 令和6年4月1日
- ◆処遇
 - 身分 常勤嘱託職員
 - 研修医手当 1年次 328,195円 **図書費200,000円／年（基幹型研修のみ）**
2年次 345,445円
 - 副直手当 4回実施した場合116,000円が加算されます。（29,000円／回平均）
 - 勤務時間 8：30～17：00（休憩45分）
1週間 38時間45分（実働）
 - 休日 週休二日制 国民の祝日 日本赤十字社創立記念日（5月1日）
 - 有給休暇 1年次 10日間 2年次 11日間
 - 副直 約4回／月（当直医のサポート研修）
 - 宿舍等 単身・世帯兼用宿舍 8室、医局内研修医室有
 - 社会保険等 日本赤十字社健康保険組合、厚生年金保険、日本赤十字社企業年金基金、雇用保険、労災の適用あり
 - その他 学会・研究会への旅費の支給（規程に添って）
医師賠償責任保険（病院において加入。また個人加入は強制）

提出書類

お問い合わせ

唐津赤十字病院 教育研修推進センター

〒847-8588 唐津市和多田 2430

TEL：0955-72-5111（内線 2020）

FAX：0955-73-9530

E-mail kyoiku.c@karatsu.jrc.or.jp

病院見学について

病院見学を希望される方は
いつでもご連絡ください!!
ご希望に応じます



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

唐津赤十字病院

〒847-8588 佐賀県唐津市和多田2430

TEL 0955-72-5111 (内線2020)

FAX 0955-73-9530

E-mail kyoiku.c@karatsu.jrc.or.jp

<http://www.karatsu.jrc.or.jp/>

